

## 台湾・長庚大学医学部との部局間協定を締結

学務委員長 富田泰史

令和6年11月6日、台湾の長庚大学（Chang Gung University）医学部と教育・研究活動を連携して推進していくための部局間協定を締結しました。長庚大学は1987年に「長庚医学院」として創立され、現在は4学部（医学部・工学部・経営学部・情報学部）、約7,000人の学生を擁する台湾トップレベルの私立大学です。

令和6年6月に、国際的な医学教育の推進のため、学務委員長をはじめとする視察団が長庚大学医学部を訪問しました（写真）。その後、臨床実習学生の Externship program ならびに両大学の研究者交流についての協議が進み、今回の部局間協定の締結に至りました。本協定締結により、両大学の学生は原則として4週間、相互の医療機関において臨床実習に参加することが可能となりました。

今後は、両大学の交流が活発に行われ、国際水準の医学教育・研究のさらなる発展が期待されます。



令和6年6月に医学教育視察のため長庚大学医学部を訪問

左から Hsieh 教授（長庚大学医学部長）、三上教授、漆館教授、富田教授、花田教授、Chaou 教授